JTSU-E JTSU
Hachioji MAIL NEWS
輸送サービス労組 八王子地本
JR EAST TRANSPORT SERVICE WORKERS' UNION HACHIOJI
ホームページ
2022.01.28
No. 106
Twitter

1/28
八地申
第１７号

始発列車の運転士によるドア開扉ならびに案内設定トライアルの延期を求める緊急申し入れ

現在、各運輸職場では、２月より始発列車の運転士によるドア開扉ならびに案内設定のトライアルが実施されようとしています。しかし、職場では定例訓練の中で説明が行われていますが、**機器の取り扱いや放送等運転士が初めて行う作業であるにも関わらず、資料やパワーポイント等での訓練に留まっています。**教育の不十分さから、職場によっては指導担当等の立ち合いによるトライアルを検討していますが、乗務員から不安の声が挙がっています。さらに、**回送列車や青出区列車からドア開扉と案内設定については、運転士の作業とドア開扉等の作業が混在し、取り扱い誤りに繋がる作業手順となっているだけでなく、全ての取り扱いをトライアル出来る計画がされていません。**

職場では、トライアルを通じて問題点を抽出し、３月のダイヤ改正での本実施を目指していますが、**トライアルを本線で行う以上お客さまへの影響を最小限に抑えるため、事前に取り扱いを訓練し、不安を解消したうえで実施するべき**であると考えます。現状でのトライアル実施は、３月ダイヤ改正での本実施を目的とした実施日ありきであり、準備不足と言わざるを得ません。トライアルであるとしてもお客さまに迷惑をかけることが想定される取り扱いは看過出来るものでありません。

したがって、下記の通り申し入れを行いました。

申し入れ項目

１．２月から実施される始発列車の運転士によるドア開扉ならびに案内設定のトライアルを延期すること。

「実施日ありき」ではなく、全乗務員が不安なく取り扱えるよう、万全な準備を行うべきだ！

JTSU-E JTSU
Hachioji MAIL NEWS
輸送サービス労組 八王子地本
JR EAST TRANSPORT SERVICE WORKERS' UNION HACHIOJI
ホームページ
2022.02.03
No. 113
Twitter

1/28
八地申
第１７号

始発列車の運転士によるドア開扉ならびに案内設定トライアルの延期を求める緊急申し入れ

２月３日 団体交渉開催

輸送サービス労組の主張

- 新たな作業が発生するにも関わらず、机上訓練（動画視聴）のみの職場がある
- 職場ごとに取扱いが変わり、支社としての統一性がない
- 半自動扱いの区間ではドア閉扉の際、お客さまに怪我をさせるリスクがある
- トライアルのための勤務変更も発生しており、本実施を目的とした実施日ありきで準備不足である

「安全はトッププライオリティ」「三現主義」は何処へ！？

トライアルの中止を求めるも、実施日ありきの回答を繰り返し対立で終了！

JR 東日本会社の主張

- 支社としての考え方「３月１２日に実施できるようにする」を１１月に臨時指導助役会議と各区所への説明を行い、１２月には基本フローを示し、職場で訓練の準備を行っているので準備不足ではない
- 他支社の検証結果は、業務量が増加する課題はあったが、出来なくはないという認識である
- トライアルは、運転士の習熟度や基本動作を身につけるために行うものであり、一人一回は実施出来るようにしてもらっているので、全箇所で出来る認識である
- 全箇所でトライアルを実施させるつもりであったが、「職場から手厚くやりたいという思い」を尊重した
- 基本動作は、体になじむ手順がよいと考え、職場で検討して変更もあり得る
- 実施できないとなれば職場から意見が挙がってくるが、意見がないということは、出来るという認識である
- 新たな作業をする時には、不安はあるもの。心配が消えることはない。いかに小さく出来るかが指導担当の仕事である

不安が解消できないままのトライアルは直ちに中止するべきだ！
準備不足の施策では安全はつくれない！職場から声を挙げよう！